§ 3-2. 電子情報工学科

年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科日

1	年次		13	手次			2:	年次			3年	次	ì	44	手次
学科	相	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後期
		日本国憲法	2	日常生活と法	2							比較文学	2		
		産業と法	2	コミュニケー ション基礎	2					認知心理学	2	現代倫理	2		
	人文社会	九州学	2					日本近代思想史	2						
教養教育科目	分 野	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2						1		
育科目		海外事情	2										1		
		日本事情【	2	日本事情Ⅱ	2										
	自然科学 分 野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学	2				i		
	保健体育 分 野	健康運動学	2			健康科学	2	スポーツ科学	2				Ī		

■スキル教育科目

1	年次		14	次			25	F次			34	手次		41	年次	
学科	相	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後	期
		英語初級 I	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅲ	2	英語初級N	2	ブラッシュアップ イングリッシュ I		ブラッシュアップ イングリッシュ II	2	ブラッシュアップ イングリッシュ 1 11 2	ブラッシュ イングリッ	
		英語中級 I	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級IV	2							
	外国語	英語上級 I	2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2							
	分 野	中国語I	2	中国語Ⅱ	2					フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2			
スキル教育科目		韓国語」	2	韓国語Ⅱ	2					ドイツ語【	2	ドイツ語Ⅱ	2			
教育科目		日本語 I	2	日本語Ⅱ	2											
	保健体育 分 野													生涯スポ	ーツ学	2
	情報工学 分 野	コンピュータ リテラシー	2													
	キャリア	キャリア形成	2										1			
	形成分野	日本語表現	2			就業実習	2			就業実習	2					

- [注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。
- [注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。
- [注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択科目である。
- [注 4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。
- [注5] 「日本事情 I」、「日本事情 II」、「日本語 I 」及び「日本語 II」は留学生のみ受講できる。
- [注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。
- [注7] 協定校 (日本語センター) からの留学生は、
 ①初年次前期の「日本事情 I J 及び「日本語 I J を履修し、7月実施の日本語能力試験 (N2以上) を受験しなければならない。
 ②日本語能力試験 (N2以上) に合格しなければ、「日本語 I J の単位を認定しない。

 - ③日本語能力試験 (N1) に合格しなければ、「日本事情 I 」の単位を認定しない。 ④日本語能力試験 (N1) に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕電子情報工学科 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、〇印は必修科目、〇印はコア科目)

年次		1年	次			2年	下次			3年	次	21	45	F次	
辨目	前期		後期		前期		後期		前期	-1	後期	前	期	後	期
	電子情報 基礎数学 A	2	電子情報 数学	4	線形代数 I	@	線形代数Ⅱ	2	初等統計学	2					
専門基礎科目	電子情報 基礎数学 B	4													
母] 医喉杆日					微分方程式	2	偏微分· 重積分	2							
	物理概論	2	物理学I	2	物理学Ⅱ	2			現代物理学	2					

- [注1] 「電子情報基礎数学A」と「線形代数Ⅱ」、あるいは「電子情報基礎数学B」から習熟度別に指定された科目4単位以上を取得すること。
- [注2] 「電子情報基礎数学A・B」及び「電子情報数学」は習熟度別にクラス分けして講義を行う。

■専門教育科日

年次		1年	次			25	F次			34	F次		4	年次	
学科目	前期		後期		前期		後期	15	前期		後期		前期	後期	
電子情報	電子工学 基礎	2	論理回路	2											
基礎科目			電磁気学 I	2	電磁気学Ⅱ	2	電子計測	2	制御基礎	2	制御工学	2			
デバイス系							電子物性	2	電子 デバイス I	2	電子 デバイス II	2			
科目									集積回路 工学	2	光エレクト ロニクス	2			
回路系			電気回路Ⅰ	2	電気回路Ⅱ	2	電気回路Ⅲ	2							
科目					電子回路 I	2	電子回路Ⅱ	2	アナログ 回路	2	応用アナ ログ回路	2			
	プログラ ミング I	0	プログラ ミングII	2	プログラ ミング演習	2					応用プログ ラミング	2			
情報システム系 科 目					コンピュータ 工学	2	コンピュータ システム	2							
							コンピュータ 計測	2	デジタル 信号処理	2					
					技術者倫理	2	技術英語	2	プレゼン テーション	2	I E技術 展望	2			
							無線技術 資格	2							
共通科目					情報技術 資格 I	2			情報技術 資格 II	2					
八旭州日									組込み基礎	2	組込み システム	2		電子工学 総合	0
	ロボット 工学入門	@									ロボット ビジョン	2		情報工学総合	0
			物理·電子 情報基礎実験	2	電子情報 実験 I	2	電子情報 実験 II	2	電子情報実験Ⅲ	2	創成実験	2	卒業	开究	0

- [注3] 1年間に履修登録できる単位数は、スキル教育科目のキャリア形成分野、教職科目、その他カリキュラム外の科目を除き最大60単位と する。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。
- [注 4] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が電子情報工学基盤コース、下段が電子情報工学創成コースである。
- [注5] 電子情報工学基盤コースは、「無線技術資格」、「情報技術資格Ⅱ」、「応用アナログ回路」及び「IE技術展望」から4単位以上取得すること。

§ 3-3. 生命環境科学科

年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科日

(利用々の大側の粉点は単位粉 (八口は以内科目)

/	年次	1000000	12	F次			21	羊次			3年	次		43	年次
学科	目	前期		後期		前期		後期		前期		後期	1.1	前期	後期
		日本国憲法	2	日常生活と法	2							比較文学	2		
		産業と法	2	コミュニケー ション基礎	2					認知心理学	2	現代倫理	2		
	人文社会	九州学	2					日本近代思想史	2						
教養教	分 野	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2								
教養教育科目	9	海外事情	2												
		日本事情 I	2	日本事情Ⅱ	2										
	自然科学 分 野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	目然と科学	2						
	保健体育 分 野	健康運動学	2			健康科学	2	スポーツ科学	2						

■スキル教育科目

/	年次		1年	次			25	F次			34	F 次		44	年次	
学科	目	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後其	A.
		英語初級 [2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅲ	2	英語初級IV	2	ブラッシュアップ イングリッシュ l		ブラッシュアップ イングリッシュ II	2	ブラッシュアップ イングリッシュ II 2	ブラッシュア イングリッシ	
		英語中級 I	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級Ⅳ	2							
	外国語	英語上級 I	2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級IV	2							
	分 野	中国語I	2	中国語Ⅱ	2	1				フランス語 [2	フランス語Ⅱ	2			
スキル教育科目		韓国語 1	2	韓国語Ⅱ	2					ドイツ語 I	2	ドイツ語Ⅱ	2			
教育科目		日本語 1	2	日本語Ⅱ	2											
	保健体育 分 野													生涯スポ	ーツ学	2
	情報工学 分 野	コンピュータ リテラシー	2	14												
	キャリア	キャリア形成	2													
	形成分野	日本語表現	2			就業実習	2			就業実習	2					

- [注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科 学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。
- [注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。 [注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択
- [注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。
- [注5] 「日本事情 I」、「日本事情 I」、「日本語 I」及び「日本語 I」は留学生のみ受講できる。
- [注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。
- [注7] 協定校(日本語センター)からの留学生は、
 - の初年次前期の「日本事情 I 」及び「日本語 I 」を履修し、7月実施の日本語能力試験(N2以上)を受験しなければならない。 ②日本語能力試験(N2以上)に合格しなければ、「日本語 I 」の単位を認定しない。

 - ③日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本事情」」の単位を認定しない。 ④日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕生命環境科学科 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目、◎印はコア科目)

年次		1年	次			2至	F次		3	年次			4年	次	
学科目	前期		後期		前期		後期		前 期	後期		前	期	後	期
	基礎数学	2	応用数学	2											342
	解析I	2	解析Ⅱ	2	統計解析	2	数值解析	2							
	基礎物理学	2	物理学I	2	物理学Ⅱ	2	生物物理学	2		物理学実験	2				
	基礎化学	1													
専門基礎科目	化学I	2	化学Ⅱ	2											
	科学実験入門	2	化学実験	2											
	基礎生物学	1	生物学	2	生物学実験	2		- 1							
					地球科学	2				地球科学実験	2				
					コンピュータ言語	2					-				

[注1] 「基礎数学」、「解析 I」、「解析 II」及び「応用数学」は習熟度別にクラス分けして行う。

■専門教育科日

1	年次		1年	次		24	F次			31	丰次			4年次		_
学科目		前期		後期	前期	5 (後期		前期		後期		前期	1	後	期
		生物資源 利用学概論	2	環境エネルギー 資源化学概論	物理化学I	2	物理化学Ⅱ	2	生命環境科学 ゼミナール]	0	生命環境科学ゼミナール	1				
					物理化学 I 演習	0	物理化学Ⅱ 演習	1	無機化学	2	物理化学Ⅲ	2				
	- 1				分析化学	2	機器分析化学	± ② ∗	-	1.0						
	環境科学						環境分析化学	2 2								
基础	 科目						機器分析化学 実験	2 2								
					有機化学 I	2	有機化学Ⅱ	2	1							
					環境科学I	2	環境科学』	2								
					生物化学 I	2	生物化学Ⅱ	2								
									エネルギー 循環工学	2	電気化学	2				
	物								固体物質工学	2	無機固体化学	2				
	物質系科目								資源循環工学	2	環境浄化工学	2				
									化学工学 I	2	化学工学Ⅱ	2				
生命									環境物質 工学実験	2	ナノマテリアル 化学	2				
生命環境科学専門	物質生命 共通科目								高分子化学	2	コロイド化学	2				
行 学 亩									応用微生物学	2						
菛	生命								分子生物学	2	遺伝子工学	2				
	生命系科目								生物有機化学	2	酵素化学	2				
	B								栄養化学	2	食品学実験	2				
	7 = 4					-			環境生命 工学実験	2		1				
							微生物学	2 *			食品微生物学	2*				
食品基	日日								食品化学	2 *	食品分析学	2				
4000	10.5000		-	/	A-ALLYCO I-A-	Tat	45-1119vm 1-5	To	食品衛生学	2	毒性学	2 *	環境衛生学	2		
ドバ	ンス科目			先端環境 2 科学演習 ②	先端環境 科学実験 I	2	先端環境 科学実験Ⅱ	2	技術英語	2	生產技術倫理	2				
卒業	研究												卒等	美研究		

- [注1]「基礎数学」、「解析 I 」、「解析 I 」及び「応用数学」は習熟度別にクラス分けして講義を行う。
- [注2] 1年間に履修登録できる単位数は、スキル教育科目のキャリア形成分野、教職科目、教養教育科目の自然科学分野、その他カリキュラム外の科目を除き最大49単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。
 [注3] コア科目のうち、専門基礎科目の「科学実験入門」及び「化学実験」4単位を取得しなければ3年次の科目を履修することはできない。
- [注 4] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が生命環境科学基盤コース、下段が生命環境科学アドバンスコースである。
- [注5] *印および(*) 印の科目は、「食品衛生管理者及び食品術生監視員養成課程」に関わる必修科目及び選択科目である。 [注6] 生命環境科学専門のうち、物質系科目または生命系科目より「環境物質工学実験」または「環境生命工学実験」を含む10単位以上を取得し、合計20単位以上を取得すること。

年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科日

- 32	人養教育科	村日										(科目名0)右	則の数字は単位数、	〇印は必修科目
1	年次		14	手次			24			1	3年	次		45	F次
学科	目	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後期
		日本国憲法	2	日常生活と法	2							比較文学	2		
		産業と法	2	コミュニケー ション基礎	2					認知心理学	2	現代倫理	2		
	人文社会	九州学	2					日本近代思想史	2						
教養教	分 野	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2								
教養教育科目		海外事情	2												
		日本事情【	2	日本事情Ⅱ	2				1						
	自然科学 分 野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学	2				Ī		
	保健体育 分 野	健康運動学	2			健康科学	2	スポーツ科学	2				Ť		

■スキル教育科目

1	年次		1年	沙			2 2	F次			32	手次		4:	年次	
学科	目	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後	期
		英語初級 I	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級皿	2	英語初級IV	2	ブラッシュアップ イングリッシュ l	2	ブラッシュアップ イングリッシュ II	2	ブラッシュアップ イングリッシュ II 2	ブラッシュ イングリッ	
		英語中級 [2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級IV	2							
	外国語	英語上級 [2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2							
	分 野	中国語 1	2	中国語Ⅱ	2				ĺ,	フランス語 I	2	フランス語Ⅱ	2			
スキル教育科目		韓国語 1	2	韓国語Ⅱ	2					ドイツ語 I	2	ドイツ語Ⅱ	2			
教育科目		日本語I	2	日本語Ⅱ	2				Ti							
	保健体育 分 野				Ì									生涯スポ	ーツ学	2
	情報工学 分 野	コンピュータ リテラシー	2													
	キャリア	キャリア形成	2													
	形成分野	日本語表現	2			就業実習	2			就業実習	2					

- [注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科 学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。
- [注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。
- [注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択
- [注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。
- [注5] 「日本事情 1」、「日本事情 11」、「日本語 1] 及び「日本語 11」は留学生のみ受講できる。
- [注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。
- [注7] 協定校(日本語センター) からの留学生は、
 - 励に权(ロ本語でファー)からの電子主は、 ①初年次前期の「日本事情 I J 及び「日本語 I J を履修し、7月実施の日本語能力試験(N2以上)を受験しなければならない。 ②日本語能力試験(N2以上)に合格しなければ、「日本語 I J の単位を認定しない。 ③日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本事情 I J の単位を認定しない。 ④日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕知能機械工学科 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、	OCDI+ N/ANIA	OCTUH TOTALD
いてロセッセのツ数十の半り数、	1 プロリスルコミバチー。	

年次	1	年次			22	F次		3年	次	4	年次
学科目	前期	後期		前期		後期		前期	後期	前期	後期
		解析 I 及び演習	a	解析Ⅱ	2	解析Ⅲ	2				4
		線形代数 I	0	線形代数Ⅱ	2	確率と統計	2				
市田甘味い口	数学基	礎演習	0	微分方程式	2						
専門基礎科目		物理学 1 及び演習	0	物理学Ⅱ	2						
	物理基	礎演習	2		200		1				
		機械物理学 実験	2								

■専門教育科目

年次		14	F次			24	F次.			3 4	F次		4年	次
学科目	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後期
機械基礎学	ものづ	くりま	基礎実習	4	機械力学I	2	流体力学 [2	流体力学Ⅱ	2	機械力学Ⅱ	2		
					材料力学 [2	熱力学「	@	熱力学Ⅱ	2	材料力学Ⅱ	2		
4086434430=1-H	基礎製図I	2	基礎製図Ⅱ	3	知能機	械部	計1*	(4)	知能機	械設	# II *	4		
知能機械設計学					CAD システム*	2	CAD/CAM システム*	2	デジタル エンジニア リング*	2				
知能生産工学			生産技術史	2	機械材料	2	機械工作法 【*	2	機械工作法	2				
					電気基礎学 I	2	電気基礎学	2	モータ制御工学	2				
知能計測 制御工学									計測工学	2				
									ロボット 制御工学 I	2	ロボット 制御工学II	2		
					知能機械 基礎実験 I	2	知能機械 基礎実験 I	2	産業人 基礎教育	2	知能機械創成実験	2		
共通科目					知能機械制御 言語及び演習*	2								
					技術者倫理	2					英語プレゼン テーション	2		
卒業研究													卒業研	究

- [注1] 1年間に履修登録できる単位数は、スキル教育科目の「就業実習」、教養教育科目の「海外事情」、教職科目、その他カリキュラム外の科目、 留学生は外国人留学生科目を除き最大50単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。
- [注2] コア科目のうち、専門基礎科目の「数学基礎演習」及び「物理基礎演習」4単位を取得しなければ2年次の科目を履修することはできない。 また、専門基礎科目の「解析 I 及び演習」、「線形代数 I 」、「物理学 I 及び演習」及び「解析 II 」 12単位を取得しなければ3年次の科目
- [注3] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が知能機械設計コース、下段が知能機械創成コースである。
- [注 4] *印の科目およびスキル科目の「コンピュータリテラシー」は授業にノート PC を使用する。

§ 3-5. 電気工学科

年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科目

(科目名の右側の数字は単位数、〇印は必修科目)

1	年次		14	F次			21	手次			3年	次	4年次		
学科	I	前期		後期		前期		後期	II.	前期		後期		前期	後期
		日本国憲法	2	日常生活と法	2							比較文学	2		
		産業と法	2	コミュニケー ション基礎	2					認知心理学	2	現代倫理	2		
	人文社会	九州学	2		1			日本近代思想史	2						
	分 野	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2								
育科目		海外事情	2										Ī		
		日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2										
	自然科学 分 野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学	2						
	保健体育 分 野	健康運動学	2			健康科学	2	スポーツ科学	2				1		

■スキル教育科日

1	年次		1年	次			22	F次			34	F 次		41	年次	
学科	相	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後	期
		英語初級 [2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級IV	2	ブラッシュアップ イングリッシュ I		ブラッシュアップ イングリッシュ II	2	ブラッシュアップ イングリッシュIII 2	ブラッシュ: イングリッ:	
		英語中級 I	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級□	2	英語中級N	2							
	外国語	英語上級 [2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2							
	分 野	中国語 I	2	中国語Ⅱ	2					フランス語 [2	フランス語』	2			
スキル教育科目		韓国語I	2	韓国語Ⅱ	2					ドイツ語 1	2	ドイツ語Ⅱ	2			
教育科目		日本語 I	2	日本語Ⅱ	2											
	保健体育 分 野													生涯スポ	ーツ学	2
	情報工学 分 野	コンピュータ リテラシー	2													
	キャリア	キャリア形成	2													
	形成分野	日本語表現	2			就業実習	2			就業実習	2					

- [注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科 学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。
- [注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。
- [注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択
- [注 4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。
- [注5] 「日本事情 I」、「日本事情 II」、「日本語 I」 及び「日本語 II」 は留学生のみ受講できる。
- [注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。
- [注7] 協定校(日本語センター)からの留学生は、
 - 励だべ(日本語ピンダー)からの留字生は、 ①初年次前期の「日本事情 I 」及び「日本語 I 」を履修し、7月実施の日本語能力試験(N2以上)を受験しなければならない。 ②日本語能力試験(N2以上)に合格しなければ、「日本語 I 」の単位を認定しない。 ③日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本事情 I 」の単位を認定しない。 ④日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本事情 I 」の単位を認定しない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕電気工学科 |専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、〇印は必修科目)

年次		F次			24	F次			3年次	7	4年次			
翔目	前期		後期		前期		後期		前期		後期	前期	後	期
	電気基礎 数学A	2	解析Ⅰ	2	解析Ⅱ	2	解析Ⅲ	2	解析IV	2				
専門基礎科目	電気基礎 数学B	2	線形代数I	2	線形代数Ⅱ	2	微分方程式	2						
	電気基礎 物理学	2	物理学I	2	物理学Ⅱ	2	物理学Ⅲ	2						

■専門教育科目

年次		12	F次			25	年次			31	年次	4年次			
学科目	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後	期
電気工学基礎	電気回路 [2	電気回路Ⅱ	2	電気回路Ⅲ	2	電気回路IV	2							
母メバエナ安が	電磁気学I	2	電磁気学』	2	電磁気学Ⅲ	2	電気計測	2							
就業力育成科目					プレゼン テーション	2	技術者倫理	2				1	7		
情報処理科目			コンピュータ リテラシー応用	2	プログラ ミング言語	2		1_							
	電気工学概論	2			エンジニアリンク デザイン [2			エンジニア!	ノン	グデザインⅡ	4			
実験·実習科目			電気工学フレッ シュマン演習	2			メカトロ ニクス I	2	メカトロ ニクス II	2					
							電気基礎学 実験	2	電気工学 実験 [2	電気工学 実験 II	2	卒業研	究	
電気機器 システム工学			電気機器I	2	電気機器Ⅱ	2	電気機器Ⅲ	2	パワーエレ クトロニクス	2	電気機器 設計・製図	2			
電子回路・ 物性デバイス			電子回路]	2	電子回路Ⅱ	2									
工学	基礎物質工学	2			半導体工学	2	集積回路	2	ディジタル 回路	2					
システム 制御工学							システム 制御工学 I	2	システム 制御工学 II	2	現代制御	2			
電気エネルギー					電気エネルギー システム工学 I	2	電気エネルギー システム工学 II	2	電気エネルギー システム工学Ⅲ	2	電気エネルギー システム工学IV	2			
システム工学							電気法規及び 施設管理	2	電気応用	2	高電圧・ プラズマ	2			
電験·総合科目							電験理論	2	電験電力	2	電験機械	2			
DITIUM WE									電験法規	2	電気工学総合	@			
関連科目									機械工学概論	2	通信工学概論	2			

- [注1] 1年間に履修登録できる単位数は、電験科目、スキル教育科目の「就業実習」、「日本語表現」、教養教育科目の「海外事情」、教職科目、 その他カリキュラム外の科目を除き最大50単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。
- [注2]「電験理論」、「電験電力」、「電験機械」、及び「電験法規」の4科目の単位は、受講後、該当する国家試験に在学中に合格したものについて、 届け出により認定する。
- [注3] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が電気総合エンジニアコース、下段が電気開発エンジニアコースである。